

タイトル「**2023年度危機管理学部(公開用)**」、フォルダ「**実務経験のある教員による科目**」
シラバスの詳細は以下となります。



科目ナンバー	RMGT3343		
科目名	コミュニケーション英語 3		
担当教員	宮川 正		
対象学年	3年,4年	開講学期	前期
曜日・時限	金 3		
講義室		単位区分	選
授業形態	演習	単位数	1
科目大分類	専門		
科目中分類	専門展開		
科目小分類	専門基礎		
科目の位置付け（開発能力）	■ D Pコード-学修のゴールを示すディプロマポリシーとの関連 DP3-H [論理的思考力・批判的思考力] 理路整然とした思考を備えつつ、偏りを排除するための内省をもって、問題・課題を合理的に解決することができる。 DP6-K [表現力・対話力] 文章及び口頭で、自らの考えを的確に表現し、他者に過不足なく伝達することができる。 ■ C Rコード-学修を通じて開発するマインドセット・ナレッジ・スキルを示すコモンスプレック（C R）との関連 A1 グローバル感覚（20%） A2 異文化適応（20%） H1 論理的思考（15%） H2 批判的思考（15%） K1 ライティング・コミュニケーション（25%） K2 オーラル・コミュニケーション（5%）		
教員の実務経験	本校卒業後、航空自衛隊に入隊、以来40年余り国の安全保障にかかわる業務に従事しました。その間、米国留学や防衛駐在官勤務（米国）を経験するとともに、実任務としても中東地域に滞在しました。本授業では各国で得た実務経験を生かすと共に、グローバルな時代を生きていく学修者にとって必要な知識を還元していきます。（第2～14回）		
成績ターゲット区分	■成績ターゲット 能力開発の目標ステージと対応 3 発展期 ～ 4 定着期		
科目概要・キーワード	危機管理の専門家に求められる国際的発信力を強化するための英語専門科目であり、主として英語によるスピーキングとライティングの発展的スキルを養うための授業を行います。講義では、ライティングの基礎を固める授業を行います。危機管理の専門的な内容に関連したトピックを取り上げ、その中で用いられている語彙の運用能力の強化、コロケーションに注意を払った表現で英文を書いていく練習を行います。発展的な内容を扱うために選抜制をとり、レベル別クラス編成（上級・中級）を実施し、学習効果を高めます。授業形態は演習形式により行います。なお、対応するコンピテンスに基づき効果的な授業方法として、又は各授業を補充・代替するためオンライン授業を一部取り入れる場合があります。 ■キーワード：要約、斜め読み、コロケーション		
授業の趣旨	■副題 基本的なライティングに慣れましょう。 ■授業の目的 英語のメディアニュースやインターネット記事を要約し、自身の言葉で簡潔に書くことができ、表現力を高めるようになることが目的です。 ■授業のポイント 授業では危機管理に関する記事を中心に扱います。これまで学んできた専門用語が英語でどの様に訳され、説明されているか読み込み、それらを要約して文章にすることを学びます。また、ライティングは長い文章を書くだけでなく、箇条書きメモ、メールやチャットのやり取りなどもライティング技術です。これらについても基本的な書き方を学び、海外とのやり取りに苦手意識を持たないようにすることも授業の目的の一つです。		
総合到達目標	■ライティング能力を高めるために、危機管理に関する専門用語の語彙力を増やし、基本的な英文作成の技術を習得する。 ・危機管理に関する英語の記事を読み、辞書がなくても内容をとることができる。（第2～4回） ・英語でパワーポイント資料を作成できる。（第5～6回） ・英語の論文や条約の内容を理解し、伝えることができる。（第7～8回） ・専門的な論文等を要約し、短い文章で内容を伝えることができる。（第9～10回） ・日本語の論文や政府発表資料を要約し、英語で国際社会に発信することができる。（第11～14回）		
成績評価方法	■宿題型ミニテスト3回（30%）：適用ループリック A1、A2、H1、H2、K1、K2 （評価の観点）危機管理に関する英文または日本語を読み、要約したり感想を英文で書くテストです。内容を理解しているか、正確に簡潔に伝えることができるかを評価します。 （フィードバック方法）次の回の授業において解説します。 ■課題2回（70%） 適用ループリックA1、A2、H1、H2、K1、K2 （評価の観点）危機管理に関する文章を読みパワーポイント資料を作成する課題と、レポートを読みその講評を書く課題です。伝えるべき内容が含まれているか、相手を引き付ける資料となっているかを評価します。パワーポイント資料については、時間配分を考慮した資料となっているかも評価します。 （フィードバック方法）提出後、解説を行います。		
履修条件	TOEIC L&R 500点相当の英語力を要する。		
履修上の注意点	英語能力は一朝一夕では向上しません。日常生活から英語に接する機会を増やすようにしましょう。		

授業内容	回		内容
	1		①授業テーマ：授業ガイダンス ②授業概要：授業の構成、テーマ及び内容、スケジュール、評価の方法、英単語帳の作成等について説明を行います。（A1、A2） ③予習(60分)：シラバスを読み、授業全体の流れを確認する。 ④復習(60分)：授業を振り返り、授業の目的と到達目標に加え、本講座の受講目標をまとめる。
	2		①授業テーマ：専門用語 ②授業概要：危機管理に関する英語記事やニュースを読み、専門的な用語とその使い方について理解できる。担当教員の実務経験を踏まえて、説明をします。（A1、A2、K1） ③予習(60分)：英単語帳の作成に取り掛かる。 ④復習(60分)：授業で学んだ語彙や表現方法を使って英文を作成する。
	3		①授業テーマ：長文に慣れる（1） ②授業概要：2～3ページの英文の文献を読み、内容のポイントをつかむことができる。記事のキーワードを抜き出し、その記事の内容を日本語で大まかに理解できる。担当教員の実務経験を踏まえて、説明をします。（A1、A2、H1、H2、K1） ③予習(60分)：英文の危機管理関係のレポートを辞書を使わずに読む。 ④復習(60分)：授業で使用した資料を読み直し、単語を調べながら内容を確認する。
	4		①授業テーマ：長文に慣れる（2） ②授業概要：4～5ページの英語の資料を斜め読みしポイントをつかみ、その内容を説明する短い文章を英語で作成することができる。担当教員の実務経験を踏まえて、説明をします。（A1、A2、H1、H2、K1） ③予習(60分)：第1回宿題型ミニテスト。英文資料を読み、内容を英語で要約する問題。 ④復習(60分)：授業で使用した資料を読み直し、斜め読みをしながらキーワードや重要な文章を再度確認する。
	5		①授業テーマ：プレゼンテーション資料の作り方（1） ②授業概要：基本的な英語のプレゼンテーション資料を作成することができる。担当教員の実務経験を踏まえて、海外でのプレゼン発表のポイントの説明をします。（A1、A2、H1、H2、K1） 第1回宿題型ミニテストのフィードバックを行う。 ③予習(60分)：プレゼンテーション資料作成の要点を調べておく。 ④復習(60分)：プレゼンテーション資料作成のために必要なポイントを確認する。
	6		①授業テーマ：プレゼンテーション資料の作り方（2） ②授業概要：資料を説明するためのプレゼンテーション資料を作成することができる。担当教員の実務経験を踏まえて、与えられた時間内で効果的にプレゼンテーションを行うための資料作成について説明をします。（A1、A2、H1、H2、K1） 第1回課題の内容を伝達。第7回授業で提出する。 ③予習(60分)：国際機関の資料のキーワードや重要なポイントをまとめる。 ④復習(60分)：授業で作成したプレゼンテーション資料を修正する。
	7		①授業テーマ：英文文献の読解と要約（1） ②授業概要：危機管理またはセキュリティに関連した論文を読む。キーワードや重要な文章を確認し、辞書を使用しながら日本語で内容を理解し、要約することができる。担当教員の実務経験を踏まえて、説明をします。（A1、A2、H1、H2、K1） 第1回課題の提出 ③予習(60分)：論文をしっかりと読み込む。 ④復習(60分)：論文で使用されている語彙や表現を確認する。
	8		①授業テーマ：英文文献の読解と要約（2） ②授業概要：第7回授業と同じ論文を読み、要点を箇条書きにする。全体の要約を英語で書くことができる。担当教員の実務経験を踏まえて、説明をします。（A1、A2、H1、H2、K1） ③予習(60分)：第2回宿題型ミニテスト。数ページの英語の資料を斜め読みし、その記事の内容を日本語で要約し、感想を英文で作成する問題。 ④復習(60分)：授業内容を復習する。
	9		①授業テーマ：英文文献の読解と要約（3） ②授業概要：新しい論文を斜め読みし、キーワードや重要な文章の確認をする。英語で内容の要約ができ、感想を伝えることができる。担当教員の実務経験を踏まえて、説明をします。（A1、A2、H1、H2、K1） 第2回宿題型ミニテストのフィードバックを行う。 ③予習(60分)：国際機関の条約や専門用語を図書館やインターネットで調べる。 ④復習(60分)：新しい論文の中で使用されている語彙や表現方法を使って文章を作成する。
	10		①授業テーマ：英文文献の読解と要約（4） ②授業概要：国際機関の条約や各国の法律等を和訳する。条約や法律などの専門用語を的確に説明することができる。担当教員の実務経験を踏まえて、説明をします。（A1、A2、H1、H2、K1） ③予習(60分)：国際機関の条約や専門用語を図書館やインターネットで調べる。 ④復習(60分)：授業以外の国際機関の条約を和訳する。
	11		①授業テーマ：国際的な発言力の強化（1） ②授業概要：国際的に発信することの意義と重要性を伝える。各国の法律や日本語の論文を読み、全体を簡単に英語及び日本語で説明することができる。キーワードや重要なポイントを英語で言い直すことができる。担当教員の実務経験を踏まえて、説明をします。（A1、A2、H1、H2、K1、K2） ③予習(60分)：第3回宿題型ミニテスト。セキュリティに関する英文レポートを読み、英語で感想を書く問題。 ④復習(60分)：授業で扱った資料のキーとなる語彙や表現方法を使って文章を書く。
	12		①授業テーマ：国際的な発言力の強化（2） ②授業概要：日本語の論文や英語の条約を読み、内容を簡潔な英語の文章にすることができる。担当教員の実務経験を踏まえて、説明をします。（A1、A2、H1、H2、K1、K2） 第3回宿題型ミニテストのフィードバックを行う。 ③予習(60分)：日本の政府機関の文書を読み、内容を日本語で簡潔にまとめる。 ④復習(60分)：論文の要約方法について確認し、英語と日本語それぞれの要約の基本的な書き方を理解する。
	13		①授業テーマ：国際的な発言力の強化（3） ②授業概要：日本政府機関の文書を海外へ発信するための資料を英語で作成することができる。キーワードや重要ポイントを捉えた分かりやすい英語資料を作成し、自分の意見を英語で作成することができる。担当教員の実務経験を踏まえて、説明をします。（A1、A2、H1、H2、K1、K2） 第2回課題の内容を伝える。第14回授業で提出する。 ③予習(60分)：危機管理に関する国内外の政府機関の資料を読む。 ④復習(60分)：授業で学んだ語彙や表現方法を使って英文を作成する。

	14 ①授業テーマ：国際的な発言力の強化（４） ②授業概要：日本と他国の政府機関文書を比較し、相違点をまとめ、比較表を英語で作成することができる。担当教員の実務経験を踏まえて、説明をします。（A1、A2、H1、H2、K1、K2） 第2回課題の提出。 ③予習(60分)：危機管理に関する国内外の政府機関資料を読む。 ④復習(60分)：授業で作成した比較表を見直す。 15 ①授業テーマ：コミュニケーション英語3で学習した内容の確認・まとめ ②授業概要：第2回課題のフィードバックを行う。 授業内で学習した内容の確認とまとめをする。（A1、A2、H1、H2、K1、K2） ③予習(60分)：これまでの授業内容を再確認する。 ④復習(60分)：全授業の内容を振り返り、感想を英語で書く。
関連科目	英語Ⅰ(RMGT/SSCS1701) 英語Ⅱ(RMGT/SSCS1702) 英語Ⅲ(RMGT/SSCS1703) 英語Ⅳ(RMGT/SSCS1704) 英語Ⅴ(RMGT/SSCS1705) 英語Ⅵ(RMGT/SSCS1706) 英語Ⅶ(RMGT/SSCS1707) 英語Ⅷ(RMGT/SSCS1708) TOEIC演習1(RMGT/SSCS1771) TOEIC演習2(RMGT/SSCS1772) TOEIC演習3(RMGT/SSCS1773) TOEIC演習4(RMGT/SSCS1774) コミュニケーション英語1(RMGT3341) コミュニケーション英語2(RMGT3342)
教科書	授業資料は毎回指示します
参考書・参考URL	首相官邸HP： https://www.kantei.go.jp/ 外務省HP： https://www.mofa.go.jp/ BBC News HP： https://www.bbc.co.uk/news/ CNN News HP： https://edition.cnn.com/ United Nations HP： https://www.un.org/en/
連絡先・オフィスアワー	■連絡先 開講時に告知します。 ■オフィスアワー 開講時に告知します。それ以外の時間については、メール等により事前にアポイントメントを取ることで研究室内で対応します。
研究比率	■危機管理領域との対応 災害マネジメント20%：パブリックセキュリティ30%：グローバルセキュリティ40%：情報セキュリティ10% ■危機管理学と法学とのバランス 危機管理学80%：法学20%

